

糖尿病に強くなる!

療養指導のエキスパートを目指して

編集 梶田 出

長い療養生活のなかで待ち受けるさまざまな壁を乗り越え
無理なくセルフケアを行ってもらうために

あなたに、チームに必要な

知識・スキルがここにある

医学書院

糖尿病に強くなる!

療養指導のエキスパートを目指して

梶田出＝編

本体 2600 円＋税

医学書院 ☎ 03-3817-5657

自覚症状に乏しく、患者自身が病識をもちにくい糖尿病。しかし、糖尿病治療で最も重要視されるのは、患者個別のセルフケアであり、患者は行動変容を迫られることになる。ドロップアウトしがちな道の中で、多くの壁を乗り越え、無理なくセルフケアを行なえるよう、患者のもつ力を最大限に引き出すのが療養指導の「プロ」の仕事。療養指導のエキスパートに必要な知識・スキルが、この1冊に。

認知症高齢者の世界

日本赤十字看護学会

倫種看護実践開発事業委員会＝編

本体 1800 円＋税

日本看護協会出版会

☎ 03-6685-0340



認知症高齢者の世界を、研究の対象ではなく、ケア提供者の世界の延長線上にあると捉え直す。「尊厳」と「安楽」という2つの概念を具体化するケアとして「ワンセットケア」を紹介し、認知症高齢者がしばしば口にしている具体的な言葉を切り口に、ケア提供者の思考やケアを紐解く。

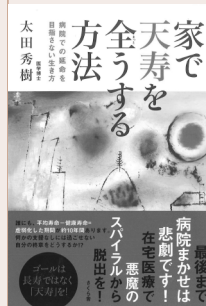
家で天寿を全うする方法

病院での延命を目指さない生き方

太田秀樹＝著

本体 1400 円＋税

さくら舎 ☎ 03-5211-6533



誰にも避けられない「虚脱化した期間」をどう過ごすのか。在宅診療20余年の著者が、「ゴールは長寿よりも天寿」、自らの最期は自分で選びとろうと語りかける。日本に病院中心の医療が生まれた背景を解説しつつ、平穏な死、納得の死を支える地域の医療・介護の力を紹介。サビースを受ける側の心の準備を促す。

ラストプレゼント

家で看取るしあわせ

小野宏志＝著

本体 1400 円＋税

幻冬舎 ☎ 03-5411-6222



訪問診療をするために開業して10年。年間約300人の看取りを行なう著者が、在宅で看取った患者10人のストーリーを語る。「住み慣れた家が、最後の時を迎えてもらう。それは家族ができる、最大の贈り物です」(帯より)。ケアすること、訪問診療のチームもまた大きなプレゼントを受け取っている。

ふしぎなともだち

たじまゆきひこ＝著

本体 1500 円＋税

くもん出版 ☎ 03-6836-0305



自閉症のあるやつくんは、ぼくたちの「ふしぎなともだち」——同級生であるゆすけの視点で描かれた本書は、障がいの有無を越え、ともに育ち、ともに働くことが実現している淡路島に暮らす実在の少年をモデルに作られた。型染で描かれる島の風景と人々の表情に目を奪われる。